



今年の立春は2/4(土)です。暦の上では春の始まりということですが、体感的にはまだまだ寒く、暖かさを感じられる日が来るのが待ち遠しいですね。



お薬手帳のメリットデメリット



今回はさくらのクリニック歯科・口腔外科の藤田医師より「お薬手帳のメリットデメリット」というテーマで、お話をさせていただきます。

お薬手帳アプリをお持ちでしょうか？お薬手帳は、どのような薬が、いつどこで処方されたか、処方の期間、服薬の注意などが記載されていて、その他に今までにかかった病気やアレルギー歴などの情報が記載されています。お薬手帳は、1990年代に別々の病院から処方された抗ウィルス薬や抗がん剤などを併用したため患者さんが死亡した事件をきっかけに全国に広まりました。そして、1995年の阪神淡路大震災で薬がなくなっても内服薬がわかることから災害時のお薬手帳の有用性が確認されました。さらに2011年の東日本大震災では、お薬手帳の紛失が相次いだためお薬手帳アプリが開発され、多くのアプリが作られました。2015年から厚労省によりお薬手帳の仕様の共通化が進められています。多くのアプリの読み込みが共通化されつつありますが今の所この共通化システムを利用できるのは薬局のみとなっていて、私達医療者には使いづらいのが現状です。そこで紙とアプリでどのような特徴があるかをまとめてみました。

	メリット	デメリット
紙の冊子	経歴がひと目で見える	いつも持ち運ぶのは不便
	どの医療機関でも受け入れやすい	劣化する(文字が薄くなる)
	バックアップが不要	かさばる、保管場所
	書き込みできる	なくした時に見返せない
	普及率が高い	家族で共有しにくい
アプリ	携帯しやすい	端末の操作が必要(操作性や電池切れ)
	多くの情報を蓄積	端末を預けにくい(医療者に提示)
	血圧計測や飲み忘れ防止など多くの機能	多機能で扱いにくい
	家族の情報を管理できる	緊急時に対応できない

多くのドラッグストア等では、メリットばかりが強調されていますが、致命的な問題として、**薬局を変えたりしてアプリを退会してしまうと今までの処方記録がなくなってしまう、緊急時にパスワードが分からず、投薬内容を確認できなくなる**などがあります。特に処方歴は、どのように考えて薬を出していたかがわかる重要な履歴ですのでとても重要です。医科、歯科、介護の分野では、お薬のチェックは体調管理に欠かせないため、お薬手帳の確認が必要になります。しかし、アプリはお薬の飲み忘れ防止や血圧の管理など多機能なものがあっても便利な一面もあり、活用してほしいと思っています。今の所、当院では、**お薬の確認には紙のお薬手帳が必要になります**。これからマイナンバーカードの機能が充実していき薬歴や検査結果がみられるようになれば、お薬手帳アプリの本領が発揮出るとなると思います。それまでは、アプリと紙の手帳の両方を持って、いいところをうまく使ってください。

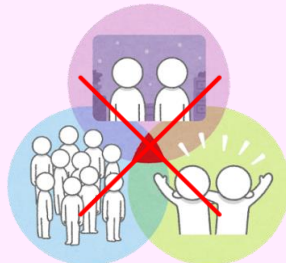
口腔内に関するお悩み等がございましたら、お気軽にご相談下さい。
さくらのクリニック歯科・口腔外科 ☎0285-37-1161



引き続き 感染症対策の継続を！



感染症法で新型コロナウイルスは、現在2類相当と位置づけられています。春には5類に引き下げるといふ案が検討されていますが、感染者数が急激に減少した訳ではありません。ですので、現時点ではこれまで同様に、手洗い、手指消毒、マスク着用、三密回避など、感染症対策の継続をお願いします。また体調に異変を感じた時は、自己判断せず早めに医療機関を受診して下さい。



お体に関するお悩み等がございましたら、お気軽にご相談下さい。
さくらのクリニック : ☎0285-37-1221



最新の作品介绍

通所部門



今月も素敵な作品をありがとうございました。

さくら野では長期入所、通所リハビリテーションを行っております。ご利用になりたい、どんな施設なのか知りたいなど興味のある方がいましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。ご相談は随時おこなっておりますが、お待たせしてしまうことがございますので、事前にご連絡下さい。

ご利用・ご相談・ご見学に関するお問い合わせ : ☎0285-37-1110 担当:三村・玉田



医療法人 さくら会

〒323-0061 栃木県小山市大字卒島110

TEL:0285-37-1221 FAX:0285-37-1640

<http://www.sakura-ac.com>

施設利用に関するお問い合わせ : 0285-37-1110 担当 三村・玉田

採用に関するお問い合わせ : 0285-37-1221 担当 中山(浩)

